



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 ワイエスフード株式会社

コード番号 3358 URL <http://www.vs-food.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 緒方 正憲

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 岩下 征吾

TEL 0947-32-7382

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	928	△4.3	3	—	△18	—	50	—
27年3月期第2四半期	969	△2.1	△3	—	△6	—	△24	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 65百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △26百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	12.97	—
27年3月期第2四半期	△6.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,427	2,038	46.0
27年3月期	4,377	1,993	45.5

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 2,038百万円 27年3月期 1,993百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,819	△4.3	32	50.5	6	△45.8	69	—	18.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	3,873,000 株	27年3月期	3,873,000 株
28年3月期2Q	— 株	27年3月期	— 株
28年3月期2Q	3,873,000 株	27年3月期2Q	3,585,700 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和政策の推進により、国内景気は回復基調を持って推移しているものの、円安の影響による輸入品価格の上昇等から、消費者の消費動向は低調に推移しており、外食産業におきましても、円安による原材料価格の上昇や人件費の上昇、異業種との競争が続くなど、依然として厳しい状況が続き、先行きに不透明感が残る状況となっております。

このような状況の中、当社におきましては、外食産業をとりまく厳しい経営環境を乗り越えるため、「企業価値の向上」及び「企業体質の強化・改革」を最重要課題とし、役員のみならず従業員一人ひとりが「経営者意識」、「当事者意識」を持ち、現状に甘んじることなく常に変革を意識し行動を行うことで、「Reactive（受動的）」思考から「Proactive（能動的）」思考へ意識改革を図ってまいりました。

その取り組みの一環として、当第2四半期会計期間におきましては、「連結子会社株式の譲渡」及び「固定資産の譲渡」を実施するとともに、平成27年8月31日に公表しましたとおり、資本業務提携先である株式会社アスラポート・ダイニング及び株式会社三久食品と共にポーランド共和国において和食材の製造・販売を手掛ける合弁会社の設立についての決議を行う等、今後の海外事業展開（欧州市場への進出）へ大きな一歩を踏み出しております。

さらに、当第2四半期会計期間において、中国青島での「日本式ラーメンビジネス」のノウハウ提供を行っており、今後、中国市場における「遣唐拉麺」の出店が加速することが予測されます。

以上の取り組みを行ったことにより、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は928百万円（前年同期比4.3%減）、営業利益3百万円（前年同四半期は営業損失3百万円）と減収増益となったものの、貸倒引当金繰入額23百万円を計上したことにより、経常損失18百万円（前年同四半期は経常損失6百万円）となりました。

しかしながら、当第2四半期会計期間において、「連結子会社株式の譲渡」に伴い、関係会社株式売却益73百万円、さらに「固定資産の譲渡」に伴う固定資産売却益6百万円が発生したため、親会社株主に帰属する四半期純利益50百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失24百万円）となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(外食事業)

当第2四半期連結累計期間における外食事業におきましては、新規顧客獲得と既存顧客のリピート率向上を図るため、「餃子190円」、「餃子半額」といった餃子をメインとした販促セールを行うとともに、昨年同様、地元スポーツ団体のマッチデースポンサーとして「山小屋マッチデー」を開催することで、「山小屋」、「ばさらか」及び「一康流」のブランディングの向上を図るとともに、QSCの徹底を積極的に行い「美味しさと快適な食の空間」に取り組む事により、店舗体質の改善に努めてまいりました。

さらに、「九州筑豊ラーメン」創業45周年を記念し、地元ラジオ局とのタイアップ企画によって誕生した新メニュー「鶏パイタンの親子つけ麺」、「秋のお月見とろとろスペシャル」を導入したことにより、特に北部九州及び山口県の店舗の一部の店舗では、前年同月を大きく上回る効果が現れる結果となりました。

今回のタイアップ企画の効果を活かし、10月及び11月におきましては山口県内における地元情報誌とのタイアップ企画「九州筑豊ラーメングループ山口地区合同感謝祭」を開催し、期間限定の「替え玉無料」等の販促セールの実施に加え、冬季限定メニュー「柚子玉ラーメン」及び「肉しょうがラーメン」の導入を告知する等、今後も、店舗売上高及び食材出荷の増加に努めてまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は864百万円（同3.9%減）となり、利益面につきましては、営業利益41百万円（同2.8%増）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の店舗状況は、新規出店が2店舗（FC店1店舗、海外1店舗）、店舗の閉鎖が10店舗（FC店6店舗、海外4店舗）、「社員独立制度」等により直営店からFC店へ転換した店舗は2店舗であります。当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、前連結会計年度末に比べ8店舗減少して154店舗（直営店6店舗、FC店109店舗、海外39店舗）となりました。

(不動産賃貸事業)

当社が所有する店舗用地等の有効活用を目的とした賃貸事業を行っております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は31百万円（同16.8%増）となり、営業利益14百万円（同303.5%増）となりました。

(外販事業)

平成27年4月1日付で、当社の100%子会社であった「ふくおか製麺株式会社」を消滅会社とする吸収合併を行っており、当社における外部販売事業の強化を図るべく、「外販部」を営業本部の傘下に置き、当社の生産する製品を主要販売品目とし、外販を行っております。

さらに、平成27年9月14日に公表しました「連結子会社株式の譲渡（非子会社化）及び特別利益（連結）並びに特別損失（個別）の発生に関するお知らせ」に記載のとおり、今後の当社の経営戦略を検討した結果、当社の中核事業である「外食事業」に経営資源を集中すべきと判断し、連結子会社であった「大幸食品株式会社」の全株式を譲渡しております。

当第2四半期連結累計期間における外販事業の売上高は29百万円（同29.0%減）となり、営業損失21百万円（前年同四半期は営業損失20百万円）となりました。

今後、外販事業におきましては、外食事業における顧客ターゲットとの差別化を図り、プライベートブランドの充実化及び商材の拡大に加えECサイトの確立を実施するとともに、効果的な広告宣伝の投入等で、新たな収益源の獲得に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,356百万円となり、前連結会計年度末に比べ125百万円増加いたしました。これは主に、売掛金が24百万円減少したものの、現金及び預金が145百万円増加したこと等によるものであります。また、固定資産は3,071百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が61百万円減少及び貸倒引当金が△23百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は4,427百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円の増加となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,043百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円増加いたしました。これは主に、その他に含まれる未払消費税等が15百万円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金金が19百万円純増したこと等によるものであります。

また、固定負債は1,345百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円減少いたしました。これは主に、役員退職慰労引当金が6百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,389百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円の増加となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,038百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益が50百万円あったこと等により利益剰余金が30百万円増加したこと及びその他有価証券評価差額金が15百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は46.0%（前連結会計年度末は45.5%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ127百万円増加して959百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は60百万円（前年同四半期連結累計期間は4百万円の獲得）となり、前年同四半期と比べて56百万円の増加となりました。

これは主に、関係会社株式売却損益が△73百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が65百万円増加及び売上債権の回収額が35百万円の増加並びに貸倒引当金23百万円増加があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、獲得した資金は56百万円（前年同四半期連結累計期間は169百万円の使用）となり、前年同四半期と比べて226百万円の増加となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が96百万円減少及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入が87百万円増加並びに有形固定資産の売却による収入27百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は9百万円（前年同四半期連結累計期間は158百万円の獲得）となり、前年同四半期と比べて148百万円の減少となりました。

これは主に、長期借入金金が140百万円純減したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間までの実績及び取り組みを踏まえ、平成27年5月14日に公表しました通期連結業績予想値を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成27年11月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	879,334	1,024,598
売掛金	156,905	132,888
商品及び製品	123,610	110,487
仕掛品	4,844	4,199
原材料及び貯蔵品	16,557	14,435
その他	51,860	72,163
貸倒引当金	△1,623	△1,946
流動資産合計	1,231,488	1,356,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,087,164	1,044,642
機械装置及び運搬具(純額)	51,301	50,412
土地	1,602,647	1,585,604
その他(純額)	17,515	16,565
有形固定資産合計	2,758,629	2,697,224
無形固定資産		
その他	10,627	9,444
無形固定資産合計	10,627	9,444
投資その他の資産		
投資有価証券	104,003	116,171
繰延税金資産	32,112	19,096
敷金及び保証金	116,120	111,421
その他	142,166	159,096
貸倒引当金	△18,050	△41,286
投資その他の資産合計	376,352	364,499
固定資産合計	3,145,609	3,071,169
資産合計	4,377,098	4,427,995

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	87,749	89,273
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	493,591	513,182
未払法人税等	5,153	7,475
賞与引当金	25,357	26,767
ポイント引当金	1,221	748
資産除去債務	739	939
その他	221,274	205,228
流動負債合計	1,035,087	1,043,615
固定負債		
長期借入金	1,065,346	1,074,699
退職給付に係る負債	65,643	62,461
役員退職慰労引当金	51,354	45,287
資産除去債務	48,169	46,421
その他	118,449	116,711
固定負債合計	1,348,962	1,345,582
負債合計	2,384,050	2,389,197
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,002,050	1,002,050
資本剰余金	831,588	831,588
利益剰余金	154,513	185,396
株主資本合計	1,988,152	2,019,034
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,632	20,860
退職給付に係る調整累計額	△737	△1,097
その他の包括利益累計額合計	4,895	19,763
純資産合計	1,993,047	2,038,797
負債純資産合計	4,377,098	4,427,995

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	969,844	928,415
売上原価	471,246	462,836
売上総利益	498,598	465,578
販売費及び一般管理費	502,587	462,356
営業利益又は営業損失(△)	△3,989	3,222
営業外収益		
受取利息	2,538	2,897
受取配当金	49	53
協賛金収入	822	529
違約金収入	2,413	7,004
その他	1,396	1,676
営業外収益合計	7,220	12,160
営業外費用		
支払利息	8,089	8,574
貸倒引当金繰入額	158	23,719
その他	1,695	1,589
営業外費用合計	9,942	33,883
経常損失(△)	△6,712	△18,500
特別利益		
固定資産売却益	—	6,648
関係会社株式売却益	—	73,105
特別利益合計	—	79,753
特別損失		
固定資産除却損	0	2,291
特別損失合計	0	2,291
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6,712	58,961
法人税、住民税及び事業税	5,322	3,756
法人税等調整額	12,664	4,958
法人税等合計	17,986	8,714
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△24,699	50,247
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△24,699	50,247

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△24,699	50,247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,150	15,227
退職給付に係る調整額	△402	△359
その他の包括利益合計	△1,553	14,867
四半期包括利益	△26,253	65,115
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△26,253	65,115
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6,712	58,961
減価償却費	50,923	49,945
貸倒引当金の増減額(△は減少)	497	23,559
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,737	1,517
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,298	821
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	66	△918
受取利息及び受取配当金	△2,587	△2,950
支払利息	8,089	8,574
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△73,105
有形固定資産除売却損益(△は益)	0	△4,356
売上債権の増減額(△は増加)	△18,413	17,018
たな卸資産の増減額(△は増加)	22,110	10,997
仕入債務の増減額(△は減少)	△19,236	3,878
その他	△10,177	△25,017
小計	32,594	68,925
利息及び配当金の受取額	2,373	3,157
利息の支払額	△8,218	△8,725
法人税等の支払額	△22,654	△2,566
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,095	60,790
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△18,002	△18,002
有形固定資産の取得による支出	△116,713	△20,579
無形固定資産の取得による支出	△4,800	△902
有形固定資産の売却による収入	—	27,640
資産除去債務の履行による支出	—	△2,980
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	87,123
貸付けによる支出	△38,967	△19,500
貸付金の回収による収入	3,529	3,729
敷金及び保証金の回収による収入	3,388	4,549
その他	1,808	△4,413
投資活動によるキャッシュ・フロー	△169,756	56,665
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	400,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△230,930	△271,055
配当金の支払額	△10,595	△19,137
財務活動によるキャッシュ・フロー	158,473	9,806
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,187	127,262
現金及び現金同等物の期首残高	614,602	831,819
現金及び現金同等物の四半期末残高	607,414	959,081

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	外食事業	不動産 賃貸事業	外販事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	892,378	26,605	38,750	957,734	12,110	969,844	—	969,844
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,370	78	2,409	9,858	—	9,858	△9,858	—
計	899,748	26,683	41,160	967,593	12,110	979,703	△9,858	969,844
セグメント利益 又は損失(△)	40,397	3,585	△20,569	23,413	2,304	25,718	△29,708	△3,989

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店用の厨房設備の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△29,708千円には、セグメント間取引消去280千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△29,988千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	外食事業	不動産 賃貸事業	外販事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	864,353	31,166	28,509	924,030	4,385	928,415	—	928,415
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	699	699	—	699	△699	—
計	864,353	31,166	29,209	924,729	4,385	929,114	△699	928,415
セグメント利益 又は損失(△)	41,511	14,469	△21,797	34,184	571	34,756	△31,533	3,222

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店用の厨房設備の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△31,533千円には、セグメント間取引消去381千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△31,915千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。